
南魚沼市新ごみ処理施設
整備・運営事業
落札者決定基準

令和7年10月

南魚沼市

南魚沼市新ごみ処理施設整備・運営事業 落札者決定基準

目 次

第1章 落札者選定の手順	1
1 落札者決定基準の位置づけ	1
2 選定の手順	1
第2章 参加資格審査	4
1 参加資格要件の項目	4
第3章 提案審査	4
1 提案書の基礎審査	4
2 提案書の定量化審査	4
3 開札及び入札価格の確認	6
4 入札価格の定量化審査	6
5 総合評価値の算定方法	7
第4章 提案書の定量化審査において審査する点	7
第5章 提案書に関するヒアリング	10
第6章 審査結果等の公表	10

第1章 落札者選定の手順

1 落札者決定基準の位置づけ

南魚沼市新ごみ処理施設整備・運営事業（以下「本事業」という。）を実施する事業者は、一般廃棄物処理施設（エネルギー回収型廃棄物処理施設）の設計・建設及び運営に係る専門的な知識やノウハウ（管理運営能力等）を有することが必要となるため、落札者の決定に当たっては、入札価格だけでなく、提案内容によって落札者を決定する総合評価一般競争入札を採用する。

この「南魚沼市新ごみ処理施設整備・運営事業 落札者決定基準」（以下「落札者決定基準」という。）は、南魚沼市（以下「市」という。）が本事業を実施する落札者の募集・選定を行うに当たって、入札に参加しようとする者を対象に交付する入札説明書と一体のものである。

落札者決定基準は、総合評価一般競争入札により落札者を選定するに当たって、要求水準書等の内容を踏まえ、入札参加者から提出された提案書等を客観的に評価する基準、方法等を示し、入札参加者が行う提案に具体的な指針を与えるものである。

2 選定の手順

本事業における事業者の選定は、総合評価一般競争入札方式に基づき、図 1-1 に示す手順で実施する。

(1) 参加資格審査

市は、提出された参加資格審査申請書により、入札説明書に記載の入札参加者の備えるべき参加資格要件（以下「参加資格要件」という。）を満たしていることを確認する。なお、参加資格要件を満たしていることが確認できない場合は失格とする。

(2) 提案審査

ア 提案書の基礎審査

市は、提案書等に記載された内容が、落札者決定基準に示す基礎審査項目を満たしていることを審査する。なお、基礎審査項目について1項目でも満たさないことが確認された場合は失格とする。

イ 提案書の定量化審査

南魚沼市新ごみ処理施設事業者選定委員会（以下「委員会」という。）は、提案書に記載された内容について、落札者決定基準に示す審査基準及び得点化方法に従って評価する。

ウ 開札及び入札価格の確認

市は、入札書に記載された入札金額（消費税及び地方消費税を含まない入札金額）が入札書比較価格（消費税及び地方消費税を含まない予定価格）を超えていないことを確認する。この結果、入札金額が入札書比較価格を超える場合は失格とする。

エ 入札価格の定量化審査

委員会は、入札価格について、落札者決定基準に示す得点化方法に従って評価する。

オ 総合評価値の算定

委員会は、提案書及び入札価格の定量化審査における得点を合計し、総合評価値を算出する。

カ 最優秀提案者の選定

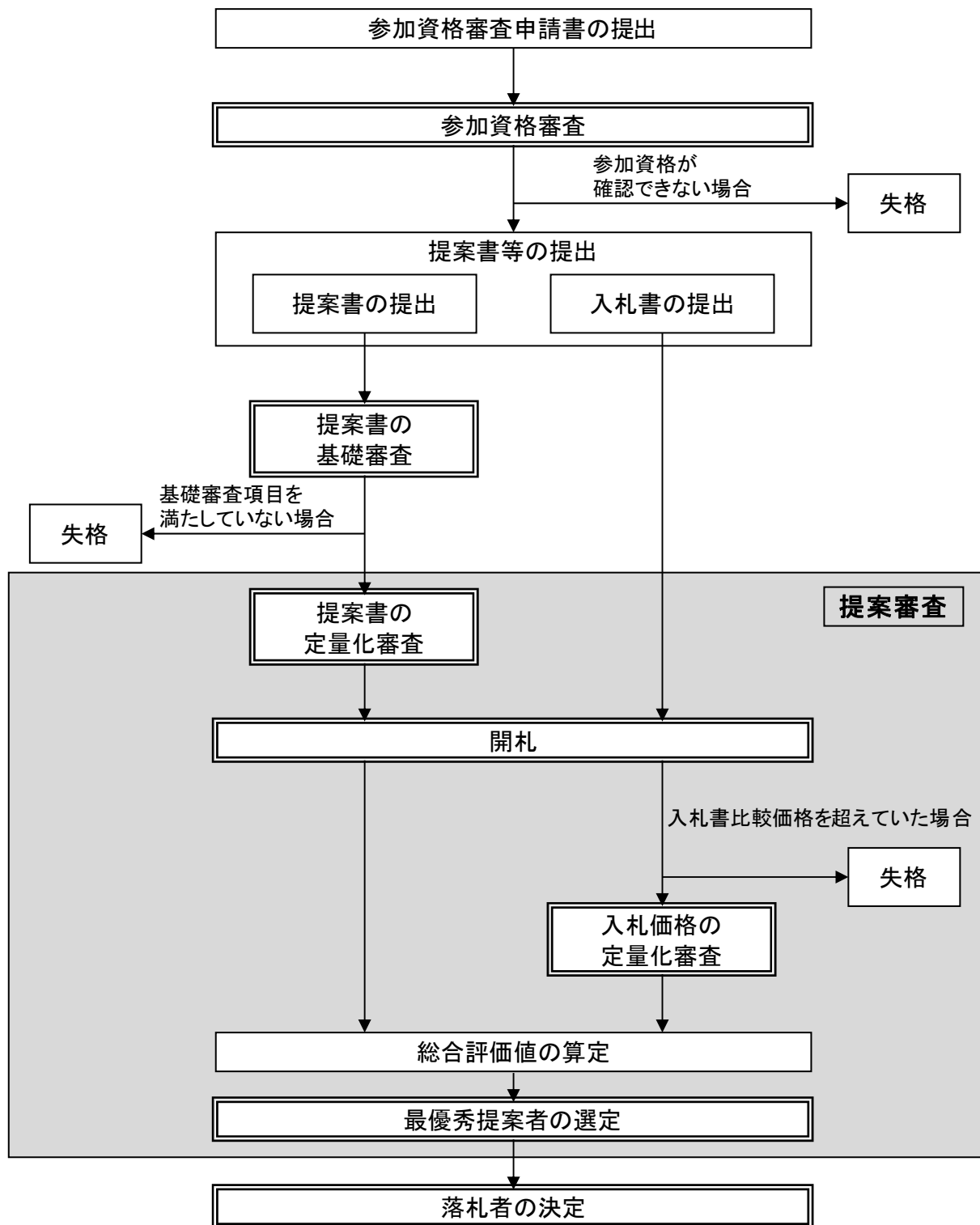
委員会は、総合評価値が最も高い提案を行った入札参加者を最優秀提案者として選定する。

キ 入札参加者が1者であった場合の取扱い

入札参加者が1者であった場合も、落札者決定基準に従い、入札提案書類の審査を行う。

ク 落札者の決定

市は、委員会の評価結果を踏まえ、落札者を決定する。ただし、委員会が2者以上の最優秀提案者を選定した場合は、当該最優秀提案者によるくじ引きにより落札者を決定する。



※委員会の事務は図中網掛け部分

図 1 - 1 落札者決定の手順

第2章 参加資格審査

1 参加資格要件の項目

参加表明書と同時に提出される参加資格審査申請書を確認する。参加資格審査基準日は、参加資格審査申請書受付最終日とする。

詳細については、入札説明書「第3章 入札参加に関する条件等」を参照すること。

第3章 提案審査

1 提案書の基礎審査

(1) 提案書等の確認

提出された提案書等がすべて揃っていることを確認する。

(2) 提案書の基礎審査

提案書に記載された内容が、次に掲げる基礎審査項目を満たしていることを確認する。

ア 提案書の内容が要求水準書に示す要求水準をすべて満たしていること。

イ 入札説明書及び様式集に示す提案書の作成に関する条件について遵守していること。

ウ 提案書全体について、同一事項に対する2通り以上の提案又は提案事項間の齟齬、矛盾等がないこと。

2 提案書の定量化審査

(1) 提案書における審査項目及び配点

提案書の定量化審査の配点、審査基準及び得点化方法については、市が本事業に対して民間の創意工夫の導出を期待する度合いにより設定した。したがって、審査項目は、市が民間に創意工夫を期待している事項であり、配点はその重みを示すものである。

審査項目及び配点については、表3-1のとおりである。なお、各審査項目における審査基準等の詳細については、「第4章 提案書の定量化審査において審査する点」を参照すること。

提案書の定量化審査にあたっては、入札説明書「第6章 提出書類」に示す提案書のうち技術提案書（様式第15号）を審査対象とし、施設計画図書、添付資料、技術提案図書概要版については技術提案書の記載内容の根拠等を確認するための資料として取り扱う。

表 3-1 審査項目及び配点

審査項目		NO.	配点
1 設計・建設工事及び運営・維持管理に関する事項			51点
(1) 安全・安心かつ安定的な処理が可能な施設			26点
① 施設の安定稼働	1	5点	
② 施設の安全性	2	5点	
③ 受付・搬入出管理	3	4点	
④ 配置動線計画	4	4点	
⑤ 全体工事計画	5	4点	
⑥ 組織体制及び人員配置	6	4点	
(2) 周辺環境との調和に留意した親しまれる施設			2点
① 景観及びデザイン	7	2点	
(3) 災害に強い施設			5点
① 施設の強靱化	8	3点	
② 災害発生時の廃棄物処理	9	2点	
(4) 公害防止に配慮した施設			3点
① 公害防止基準を満足するための取組み	10	3点	
(5) 省力化・効率化に努め、経済的な施設			7点
① 基本性能の維持及び長寿命化	11	5点	
② 焼却残渣量の最小化	12	2点	
(6) 省エネルギー・エネルギー回収効率が高く、低炭素社会に貢献する施設			8点
① 省エネルギーへの配慮	13	2点	
② 発電電力の最大化	14	3点	
③ 環境学習計画及び見学者対応	15	3点	
2 事業計画に関する事項			9点
(1) 経営計画及び事業収支計画	16	2点	
(2) リスク管理及び対処方法	17	3点	
(3) 地域貢献	18	4点	
3 入札価格に関する事項			40点
(1) 入札価格	19	40点	

(2) 提案書の定量化審査に関する得点化方法

ア 提案を求めている審査項目においては、次の５段階評価による得点化方法により得点を付与する。

表 3-2 審査基準及び得点化方法

評価	審査基準	得点化方法
A	当該評価項目において特に優れている	配点×1.0
B	AとCの中間程度	配点×0.75
C	当該評価項目において優れている	配点×0.5
D	CとEの中間程度	配点×0.25
E	当該評価項目において優れているとは認められない	配点×0.0

イ 各審査項目の評価点については、委員会の各委員が個別に行った評価の平均値とする。なお、平均値を求める際は、小数点以下第３位を四捨五入した値とする。

ウ イの結果をもとに、各入札参加者の得点の合計を算出する。

3 開札及び入札価格の確認

提出された入札金額が入札書比較価格を超えていないことを確認する。なお、入札価格の確認のための開札は、提案書の定量化審査終了後、入札説明書に定めた方法により実施し、入札金額が入札書比較価格を超えていない提案のみ入札価格の得点化を行うこととする。

4 入札価格の定量化審査

(1) 入札価格に関する得点化方法

入札価格においては、次の算定式①により得点を付与する。なお、得点は、小数第３位を四捨五入した値とする。

算定式【入札価格の定量化審査の得点算定式】

$$\left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{入札価格に関する得点} \end{array} \right) = 40 \text{ 点} \times \frac{\text{最低入札価格}}{\text{入札価格}}$$

5 総合評価値の算定方法

「2 提案書の定量化審査」、「4 入札価格の定量化審査」により算出した各入札参加者の得点から、次の算定式②により、各入札参加者の総合評価値を算出する。

算定式②【総合評価値の算定式】		
$\left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{総合評価値} \\ \text{(満点:100点)} \end{array} \right) = \left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{提案書の定量化審査の得点} \\ \text{(満点:60点)} \end{array} \right) + \left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{入札価格の定量化審査の得点} \\ \text{(満点:40点)} \end{array} \right)$		

第4章 提案書の定量化審査において審査する点

委員会は、各審査項目について、審査基準に基づき審査を行い、その内容に応じて、5段階評価により得点を付与する。

なお、各項目については、表 4-1 に示す評価の視点に対して、各入札参加者の過去の豊富な実績・経験等を踏まえたより実現性の高い提案が望ましいものとする。

表 4-1 提案書の定量化審査において審査する点

審査項目			No.	審査の視点	配点
大	中	小項目			
1 設計・建設工事及び運営・維持管理に関する事項					51点
(1)安全・安心かつ安定的な処理が可能な施設					26点
① 施設の安定稼働		1	・安定的なごみ処理に関する信頼性向上の取り組みとして、設備構成、設置基数(予備機)、AI・IoT・ICTなど最新技術の採用等について、豊富な設計・施工実績に基づいた設備面の充実を期待する。 ・人口減少等による計画処理量の経年的変動への対応力について、設計面及び運営面からの創意工夫を期待する。 ・これまでの豊富な運営実績・経験を活かした設計面への創意工夫、施設の設計・施工と運営の相互の協力・連携体制の妥当性を期待する。		5点
② 施設の安全性		2	・施設の安全管理に関し、設備の安全性確保、人の不安全行動への対応及び管理組織の編成などについて、設計面及び運営面からの計画性と妥当性を期待する。 ・事故(ごみピット火災含む)・不具合等のトラブルを防ぐための対策及び発生時における対応の迅速性、ごみ処理の継続性について、具体性と実効性を期待する。		5点
③ 受付・搬入出管理		3	・直接搬入者への受付・計量、ごみの荷下ろし、料金徴収までの手続きのわかりやすさ、円滑な搬入の仕組みについて、計画性と実効性を期待する。 ・プラットフォームにおける待車、貯留、投入作業等について、安全性、作業性及び合理性を期待する。 ・多様な搬入・搬出車に対し、安全、快適かつ円滑な計量システムの構築を期待する。 ・処理困難物及び処理不適物の混入防止対策や搬入物検査・持ち帰り指導の方法について、実効性と妥当性を期待する。		4点
④ 配置動線計画		4	・年末等繁忙期の車両集中による混雑・渋滞対策、冬季の積雪対策、現施設解体工事期間の安全対策について、全体配置計画(現施設の跡地利用含む)の計画性と妥当性を期待する。 ・車両と車両、車両と人に対する安全確保に対し、計画性と妥当性を期待する。 ・住民にとってわかりやすく、不要な周回を必要としない車両動線の構築及び場内誘導・サイン計画に対し、計画性と妥当性を期待する。 ・見学者等を含む安全面に配慮した施設内の各諸室の配置計画、運転・維持管理面に配慮した機器の配置計画について、計画性と妥当性を期待する。		4点
⑤ 全体工事計画		5	・建設期間の確実な遵守に対し、具体的な工事工程とそれを実現するための創意工夫に実効性と妥当性を期待する。 ・狭隘な建設用地、豪雪地域において、現施設を運転しながら工事を行うにあたっての創意工夫について、実効性を期待する。 ・建設期間中における周辺環境及び周辺住民に対する配慮について、妥当性を期待する。		4点
⑥ 組織体制及び人員配置		6	・事業実施における各企業の役割分担と責任体制が明確であり、代表企業による総括管理や市との協議体制について、実効性と妥当性を期待する。 ・運営体制において、各々の役割分担が明確であり、安全・安心な運転管理のために豊富な運営実績・経験に基づいた適切な人員配置であることを期待する。 ・現場総括責任者の配置の考え方(供用開始時の人材、引き継ぎ方法など)について、施設の安定稼働に配慮した適切な方針・体制であることを期待する。		4点
(2) 周辺環境との調和に留意した親しまれる施設					2点
① 景観及びデザイン		7	・周囲から視認されやすい立地条件を踏まえ、周辺の景観及び環境と調和した施設計画及びデザインを期待する。		2点
(3)災害に強い施設					5点
① 施設の強靱化		8	・水害、地震、大雪等の災害発生時に対する、安定稼働に配慮した施設の強靱化、見学者及び作業員の緊急避難について、設計面及び運営面からの計画性と妥当性を期待する。 ・豪雪地域であることを考慮した設計面の妥当性に期待する。 ・一時的な避難所としての周辺住民の受入に配慮した設計、受入対応への協力について実効性と妥当性を期待する。		3点
② 災害発生時の廃棄物処理		9	・災害等発生時における対応の迅速性、ごみ処理の継続性について、計画性と妥当性を期待する。 ・災害等発生時における災害廃棄物の受入、貯留・保管、処理の方法について、設計面と運営面からの計画性と妥当性を期待する。		2点
(4)公害防止に配慮した施設					3点
① 公害防止基準を満足するための取組み		10	・本施設の各公害防止基準を満足するための方策と運転監視方法(常時及び定期測定)について、実効性を期待する。 ・周辺住民や見学者、直接搬入者に配慮した騒音、振動、悪臭対策について、設計面及び運営面からの妥当性を期待する。		3点
(5)省力化・効率化に努め、経済的な施設					7点
① 基本性能の維持及び長寿命化		11	・35年以上にわたる本施設の使用を前提として、機器の選定、事業期間中の効率的な更新整備や保全管理を充実するストックマネジメントの考え方に基づく施設の長寿命化対策を期待する。 ・施設の基本性能の維持を考慮した点検、検査、補修及び更新の各対応について、設計面及び運営面からの計画性と妥当性を期待する。 ・本事業終了後の運営コスト抑制のための方策について、設計面及び運営面からの計画性と実効性を期待する。 ・現施設の跡地利用時における工事費低減に向けた取り組みとして、建設用地内の搬入道路や駐車場など、本施設の機能・設備の充実を期待する。		5点
② 焼却残渣量の最小化		12	・本施設から生じる焼却残渣量の最小化について、計画性と実効性を期待する。		2点
(6)省エネルギー・エネルギー回収効率が高く、低炭素社会に貢献する施設					8点
① 省エネルギーへの配慮		13	・本施設における使用電力削減等の省エネルギー対策について、設計面、運営面の取り組みについて計画性と実効性を期待する。 ・地球温暖化対策に寄与するため、燃料由来の二酸化炭素排出量の最小化を期待する。		2点
② 発電電力の最大化		14	将来のごみ減量等を考慮した運転方法・運転計画等の工夫による20年間の余剰電力量の最大化に期待する。 ・20年間の運営期間を通じた安定的かつ効率的な発電計画について妥当性を期待し、次の算定式による得点(小数第3位を四捨五入)を付与する。 得点 = 配点 × $\frac{\text{当該余剰電力量(20年間)}}{\text{最も多い余剰電力量(20年間)}}$		3点
③ 環境学習計画及び見学者対応		15	・子ども、高齢者、障がい者など、見学者の年齢や立場等に配慮した環境学習プログラムや、見学者に対応した見学ルート、引率・説明方法、見学窓の配置等について、計画性と具体性を期待する。 ・見学設備及び環境学習プログラムに対し、社会の変化に即応した対処や方策に期待する。		3点

2 事業計画に関する事項			9点
(1)経営計画及び事業収支計画	16	・事業期間にわたる安定した事業経営計画及び事業収支計画について、計画性と妥当性を期待する。 ・長期にわたる事業継続性の担保、運営事業者の財務リスクの最小化に係る提案に対して、実効性と妥当性を期待する。	2点
(2)リスク管理及び対処方法	17	・リスク顕在化確率及び顕在化時の影響の極小化を考慮するリスク管理方針及びリスク管理体制に計画性と実効性を期待する。 ・セルフモニタリングの実施内容、頻度、報告内容等について、計画性と実効性を期待する。 ・付保する保険内容について妥当性を期待する。	3点
(3)地域貢献	18	・本事業における地元企業の活用、地元雇用や地元からの資機材の調達等に配慮した計画の具体性と実効性を期待する。 ・運転人員等で地元の人材を最大限雇用するための人材教育や支援方法等の実効性を期待する。	4点
3 入札価格に関する事項			40点
(1)入札価格	19		40点

審査の視点に示す用語の定義は以下のとおりである。

「計画性」:課題、原因、事例等の分析から提案内容を導いた過程や考え方が適切であるかを判断する

「実効性」:求めた性能、機能、方策について、実際に効果があるかを判断する

技術点

60点

価格点

40点

計

100点

第5章 提案書に関するヒアリング

委員会は、提案書の審査及び評価を行うにあたり入札参加者に対し、ヒアリングを行う。なお、ヒアリングについては、入札参加者の独自のノウハウに関する内容も含むことが想定されることから、非公開のもとで実施する。

ヒアリングの開催要領の詳細は、別途通知する。

第6章 審査結果等の公表

審査結果等については、公表を行うとともに、入札参加者に対して個別に通知する。